

# SLOFECによる タンク底板連続探傷装置



石油タンク底板の検査は、タンク開放時に定点の板厚測定が一般に行われています。しかしながら、定点測定では、タンク底板の最大腐食箇所を特定することは極めて困難であり、また、特定するためにはタンク底板全面探傷が必要となりコスト、工数の面で制約を受けます。

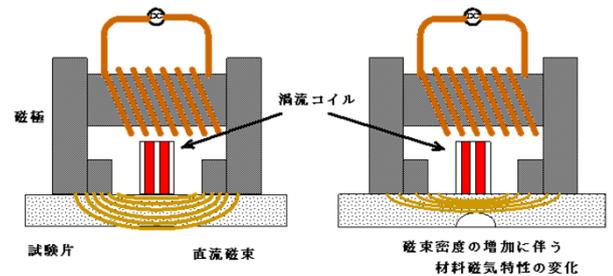
SLOFECは強磁性体のタンク底板を直流磁化することにより、 $\mu$  雑音を低下し、かつ、磁界の浸透深さを増加して効果的な検査を可能とした装置です。全面探傷を行うため、従来の定点測定に比べて全体的な腐食状況を効率よくかつ精度よく把握でき、タンクの保安全管理に有効な手段です。

## 特長

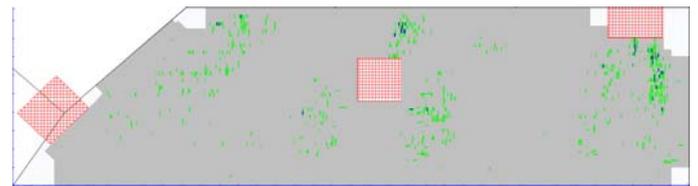
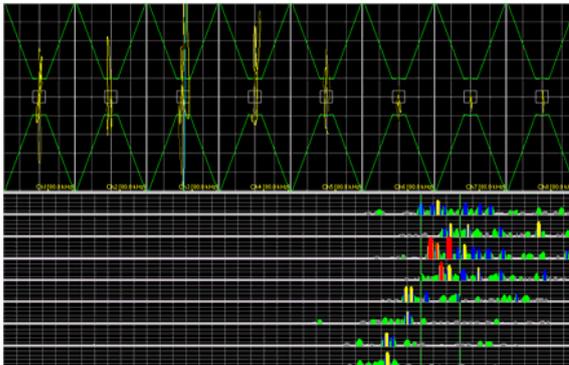
- 底板全面の連続探傷が可能であり、全面の腐食状況が把握できる
- 非接触の検査であり、前処理、後処理が不要
- 高速検査 100～300 m<sup>2</sup>/日の作業効率
- 欠陥検出位置のマーキングが即座に可能
- 測定不可範囲  
板の四隅、当板、付属物周辺等装置構造上のもの  
溶接線近傍など、渦電流探傷の原理上のもの

健全部における直流磁束の分布

欠陥部における直流磁束の分布



SLOFECの概略図



検出信号表示例

## 適用

- 板厚30 mmまで適用可能
- コーティング厚さは、板厚が16 mm以下なら6 mmまで、16 mmを超えた場合は3 mmまで適用可能